



# 一歩 みんなのIPPO

令和2年 6月22日(月)  
四季が丘小学校 研究推進便り

6月5日(金)に、広島県教育委員会義務教育指導課の安達裕指導主事、廿日市市教育委員会の金本旭史指導主事をお迎えし、学力フォローアップ校事業第1回授業研究会を行いました。

今回は第1学年の算数科「たすのかなひくのかな」の模擬授業をもとに課題の大きな児童への手立てや支援のあり方を共有することができました。

5名の児童役の先生方に、予想されるつまずきや反応を演じていただき、授業者がどのような声かけや手立て・支援を講じていくのかをイメージしながら具体で考えることができました。

今年度は、算数科の学習のつまずきのある児童への手立てを「計算する・推論する」ことに着目していきます。研究協議会でもお示しましたが、「計算する・推論する」ことの困難さには、①数処理②数概念③計算④文章題の4つの領域があります。この4つの中から①数処理②数概念について、第1学年・第2学年の児童の状況を見取っていきます。

数概念には「序数性」と「基数性」という2つの概念が存在していること、加えて、数概念のつまずきには「基数性」の獲得が重要であり、継次処理能力と同時処理能力とを対応させて考えることが重要になってきます。また、どちらの処理の仕方が強いのかを把握も大切です。

そこで、「計算する・推論する」ことについての実態把握を低学年で行っていきます。その実態に応じて「数概念」に重点を置いた指導・支援を取り入れた授業づくりを行い、算数科の学習へのつまずきの解消につなげていきたいと考えています。「組織的」「計画的」「継続的」に進めていきましょう。



## 指導助言より

- ・ 四季が丘小学校の指導案には、系統表やつまずきを予想した具体的な手立てが明記されており、みんなで共有することで学校全体の財産になっている。今後もしっかりと具体をイメージしながら、一人一人の児童に合った支援を行ってほしい。
- ・ これまでの取組から「一人の10歩より10人の一歩」を実感している。来年度以降にもつながるよう、今一度スタンダードに立ち返りながら、本事業のまとめを行い、成果を広く普及して行ってほしい。



「先生方の雰囲気がとても明るくていいですね。」と褒めていただきました。

## サテライト研修を行いました！

6月19日（金）に、広島県立教育センターの石原修指導主事をお招きし、新学習指導要領における学習評価のポイントについて学びました。評価の「妥当性」と「信頼性」や実際に知識や技能を用いた評価場面について演習をもとに具体で考えることができました。



講義の中で紹介のあった「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（国立教育政策研究所）を各学年にファイリングしてお配りしますので、授業づくりにいかしてください。

石原指導主事の「授業前の準備から評価は始まっている！」という言葉は心に響きました。まずは、児童がどのように思考するか、どのような振り返りを表現するかをイメージしながら発問をつくっていきましょう。次のステップとして、その発問は3観点を評価するのに適しているのか吟味することを取り入れていきましょう。

研修の閉会挨拶で、校長先生からフォローアップ勉強会についての嬉しいお話がありました。あの瞬間、石原指導主事は、研究に向けた「団結力」を感じられたそうです。一人の児童の頑張りを先生方全員が喜ぶこと、また、自分事として感じていることが素晴らしいとおっしゃっていました。また、協議・演習中の先生方の協働的な姿勢に四季が丘小学校の児童の学びの姿を見ることができたともおっしゃっていました。私たちの姿はそのまま鏡となって児童の姿を映し出していることを感じました。

## 切磋琢磨（先生方の頑張りを紹介するコーナーです！）

今回は、3年目の菊野先生の実践を紹介します。今年度は1年生の担任として、日々、頑張っておられます。

先日の校内研修に活用したエクステンジボード機能をなんと1年生で見事に活用しておられたことには大変驚きました。そのことを、嬉しそうに教えてください。先生の姿がとても印象的でした。



4月の非常事態宣言を受け、文部科学省は「GIGAスクール構想」の充実に向けた推進を表明しました。これから、ICT教育環境が整備されていく中で、教職員のICT指導技術の向上は必要不可欠です。25日（木）には、ICT支援員さんが来校されます。専門的な指導をしていただくチャンスですので、要望等がありましたら、松田まで申し出てください。

## お知らせとお願い

- ・ フォローアップ対象児童の「変容が見られる資料」として、テストやノート、プリント等のコピーをお願いします。今年度の資料は、変容を確認できるよう昨年度に取りためたものの上に綴じていくようにします。
- ・ 7月16日（木）は、第2回学力フォローアップ校事業授業研究会です。3年1組小田学級で国語の授業をもとに学び合います。当日は、広島県教育委員会の安達指導主事、広島県西部教育事務所の小西指導主事、廿日市市教育委員会の金本指導主事が来校されます。